平成 28 年 12 月 19 日

各 位

会 社 名 **株式会社 新日本科学**
代表者名 代表取締役会長 兼 社長 永田 良一
（コード番号：2395 東証第一部）
問合せ先 代表取締役副会長 関 利彦
（TEL：03-5565-6216）

開発会社 Satsuma Pharmaceuticals, Inc.の第三者割当増資に関するお知らせ
- 総額 1,200 万米ドルの資金調達で経鼻偏頭痛薬の開発を加速 -

株式会社新日本科学（本社：東京、社長：永田良一、以下「当社」）が設立した米国開発子会社“Satsuma Pharmaceuticals, Inc.（カリフォルニア州、President & CEO：John Kollins、以下「Satsuma 社」）”が、RA Capital Management, LLC（以下「RAC 社」）[1]並びに TPG Biotechnology Partners V, L.P.（以下「TPG 社」）[2] を引受先とする、総額 1,200 万米ドルの第三者割当増資契約を締結したのでお知らせいたします。

当社は、トランスレーショナルリサーチ（TR）事業の一環として、当社独自の経鼻投与・製剤基盤技術（以下「本技術」）を応用した経鼻偏頭痛薬[3]を開発するため、Satsuma 社を本年 6 月、米国に設立しました。併せて当社は、市場規模が大きく患者アンメットニーズに合致した偏頭痛薬のジヒドロエルゴタミンについて、Satsuma 社と本技術に関わるライセンス契約を締結しました。その後 Satsuma 社は、経鼻ジヒドロエルゴタミン（以下、「経鼻 DHE」）の開発準備を行いながら、機関投資家と資金調達に関わる協議を進めておりました。

このたび Satsuma 社は、当社の本技術及び開発の実績を高く評価し、患者ニーズに適合した吸収特性を有する経鼻 DHE の市場性を有望視した RAC 社並びに TPG 社より、合計 1,200 万米ドルの資金調達に成功しました。Satsuma 社は、この資金を基に早期に経鼻 DHE の臨床試験を開始し、Proof-of-Concept（概念実証）の確認を行った後、幅広い出口戦略を構築します。当社は、経鼻 DHE の早期商品化に向けて、受託サービスで全面的な支援を行いながら、株主及びライセンス元として経営及び技術支援を継続、強化してまいります。

当社社長の永田は次のように話しております。「すでに当社が TR 事業の一環として創業し、現在は重要な投資先である Wave Life Sciences Ltd.[4]の発展にならい、Satsuma 社がそれに続く TR 事業の成功事例となるよう育成に注力してまいります。」

なお、本件が当社グループの今期業績に及ぼす影響は軽微であります。

以 上

【備考】

1) RA Capital；医薬品、医療機器や診断装置などを開発しているヘルスケア・ライフサイエンス関連の会社に対して出資を行う、米国拠点のクロスオーバー・ファンド・マネジャーである。投資戦略は柔軟で、応変の出資やマネージメントチームの動員などを通じ、株式上場への先導やポートフォリオ会社の継続維持を図っている。

2) TPG Biotech；TPG グループ内でライフサイエンス関連ビジネス（治療薬、医療機器やヘルスケアサービス）への投資を担当する。TPG Biotech は経験が豊富な投資家、医師、科学者、技術・専門家で構築され、革新的な企業、及び起業家とパートナーシップを構築することで、新たなビジネスを創造する。12 億米ドルの資産を有しており、2002 年以降に、50 件以上の投資を行った。

3) 経鼻偏頭痛薬；米国における偏頭痛患者は、全人口の 10%に相当する約 2,800 万人おり、その偏頭痛薬市場は 2011 年の時点で約 3,000 億円にも及ぶとされている。本疾患は 20 - 40 歳代の比較的若い就労年齢層に多いことが特徴で、日常生活の中で不安の種となる頭痛に速効する薬剤の開発が強く望まれている。DHE は、第一選択薬であるトリプタン製剤が効かない患者にも有効であるが、市販の DHE 点鼻剤（水溶液）は、吸収速度が遅いために効果発現までに 30 分ほどかかり、また薬剤吸収がバラつき易く確実な臨床効果が得られにくい。本技術を応用した DHE 経鼻偏頭痛薬は、速やかで高い吸収が可能になるため、市場ニーズへの合致が大きく期待される。

4) Wave Life Sciences Ltd.；昨年 11 月 NASDAQ 上場、本年 5 月に Pfizer 社と立体制御型核酸治療薬の共同開発に関し、最大で総額 911 百万米ドル（約 1,002 億円、110 円/米国ドル）+ ロイヤリティのライセンス投資契約を締結した。